

第23回企画展

戦艦大和・武蔵の 進水式展

「戦前戦後の時代を飾った船たち」

7/12 ▶ 9/23
土 2014 祝火 2014

場所	大和ミュージアム1階 大和ホール
料金	一般(大学生以上) 400円 (800円)
	高校生 300円 (500円)
	小・中学生 200円 (300円)

※()内料金は常設展示とのセット料金

※ 呉市内に在住、
在学の高校生以下は無料

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
但し

7月22日・29日・8月5日・12日・19日・26日は **開館**

協力 海上自衛隊呉地方総監部
株式会社タム・タム
株式会社表現社
船の科学館 松野正樹
三菱重工業株式会社長崎造船所史料館
戦艦大和会 K.Aコレクション

お問合せ 〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号
TEL: 0823-25-3017
FAX: 0823-23-7400
<http://www.yamato-museum.com/>



戦艦「大和」昭和15(1940)年8月8日進水 呉海軍工廠 CG画像

初公開!



戦艦「武蔵」昭和15(1940)年11月1日進水 三菱重工業(株)長崎造船所 CG画像



一等巡洋艦「伊吹」明治40(1907)年11月21日進水 呉海軍工廠



海上自衛隊呉地方隊は今年60周年を迎えます。



護衛艦「いずも」平成25(2013)年8月6日進水
ジャパンマリンユナイテッド株式会社横浜事業所磯子工場



(写真提供 海上自衛隊)

ごあいさつ

進水式は、船の命名と船体が海に浮かぶ確認を行う、船の誕生を祝う儀式です。船の建造に携わる人々にとって、支綱が切られた瞬間の緊張感と、船が浮かんだ姿を見たときの安堵感は、忘れがたい、大変感慨深いものです。

進水式では、様々な進水記念品がつけられ、関係者に配布されました。進水記念品は、進水式の支綱切断に使われた斧やハンマー、支綱のほか、絵葉書、徳利、盃、湯呑、皿、文鎮、メダルなどがあります。進水記念品は、その多くが当時の優れた工芸品で、趣のあるデザインとなっており、進水式に臨む人々の気持ちが読み取れます。

進水記念品のなかで最も多くの人に親しまれたのは絵葉書です。進水記念絵葉書は、明治時代から発行され、戦後も民間の船が進水式を行う際に発行されています。進水記念絵葉書は、進水時に配布されるため、船の完成予想図が描かれている点と船名に由来した絵が描かれている点が特徴です。中には、進水後、船が完成しないまま未成艦となってしまった船の絵葉書もあります。絵葉書のデザインは、海軍工廠内で公募されることもあり、建造に携わった人々の想いが表れているといえます。

本企画展では、戦艦「大和」・「武蔵」をはじめとする多くの艦船の進水記念品の展示を通して、戦前戦後の時代を飾った船たちの歴史とともに船の建造にかかわった人々の船に対する想いをお伝えしたいと思っています。

呉市海事歴史科学館
(大和ミュージアム)

戦艦「大和」と戦艦「武蔵」の進水方法

戦艦「大和」の船渠進水

戦艦「大和」は、造船ドック内に水を注入して船を浮上させ、曳舟によって海へ船体を引き出す「船渠進水」という方法で進水しました。船渠進水は、建造しているドック内でそのまま船を浮かべることができるため、進水方法としては、事故が少ない、確実な方法といえます。戦艦「大和」は、支綱切断ののち、5隻の曳舟に引かれ、約20分かけて造船ドックから海へ進水しました。



航空母艦「赤城」大正14(1925)年4月22日進水 呉海軍工廠

戦艦「武蔵」の船台進水

戦艦「武蔵」は、船台から船が滑り降り海に浮上する「船台進水」という方法で進水しました。船台とは、海面に向かってゆるやかに傾斜している台で、艦船を建造する施設です。船台中央には盤木(ばんぎ)があり、盤木を挟んだ両側に進水台をつくります。進水直前、すべての盤木、支柱を外す作業が行われ、「トリガー」という滑り止め金物で船を一時的に止めておきます。進水式で、支綱切断が行われると同時にトリガーが外され、船が海へ滑り出します。戦艦「武蔵」の進水では、対岸までの距離が短いことから、対岸に波が押し寄せたとされています。



巡洋戦艦「霧島」大正2(1913)年12月1日進水 三菱合資会社 三菱造船所(現在の三菱重工業(株)長崎造船所)

主な展示資料

戦艦「大和」進水記念の風鎮

昭和15(1940)年8月8日に進水した戦艦「大和」の進水記念の風鎮です。風鎮には、檀原神宮と皇居二重橋の絵と「皇紀二千六百年 呉海軍工廠」の文字がみえます。この風鎮は、進水記念としてつくられましたが、戦艦「大和」は極秘で建造されたため、配布は許されませんでした。



戦艦「大和」進水記念の湯呑

風鎮と同じく、戦艦「大和」の進水記念でつくられた湯呑です。湯呑の正面には、戦艦「大和」進水式の式典台が描かれ、後ろには「進水記念 呉海軍工廠」の文字がみえます。蓋の裏側には、錨とスクリューを合わせたマークが描かれています。この湯呑も配布は許されませんでした。



戦艦「武蔵」竣工記念の香盒

戦艦「武蔵」の竣工記念につくられた輪島塗の香盒です。表には、海軍のマークである錨と桜が、裏には、「竣工記念 貳六〇貳 三菱長崎造船所」の文字がみえます。戦艦「武蔵」の最終艦装は呉海軍工廠で行いました。この香盒は、三菱長崎造船所の渡辺賢介建造主任の戦艦「武蔵」への強い想いにより、当時、輪島塗の第一人者といわれた柴田芳太郎に製作を依頼し、社内の関係者に配布したものです。



<特別展示 7月12日~8月2日のみ>

戦艦「武蔵」進水記念の斧

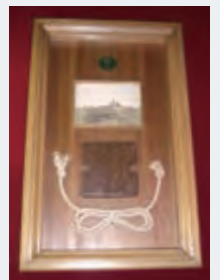
昭和15(1940)年11月1日に進水した戦艦「武蔵」の進水式で支綱切断に使われた斧です。戦艦「武蔵」は、三菱重工業(株)長崎造船所で建造されました。三菱重工業(株)長崎造船所では、進水式の支綱切断は所長が行うことになっており、戦艦「武蔵」の支綱切断は、小川嘉樹所長が行いました。本資料は、三菱重工業(株)長崎造船所史料館より今回特別に展示させていただくものです。



(写真提供 三菱重工業(株)長崎造船所史料館)

戦艦「武蔵」進水式支綱切断の台

戦艦「武蔵」の進水式で支綱切断に使用された台です。台には支綱を切断した際の斧の跡がみられます。写真の上には、進水式で着用された記章が置かれています。本資料は、三菱重工業(株)長崎造船所史料館より今回特別に展示させていただくものです。



(写真提供 三菱重工業(株)長崎造船所史料館)

関連イベント

ギャラリートークイベント

学芸員による展示解説です。

呉市海事歴史科学館 学芸課 tel:0823-25-3047

7/13(日) 8/10(日) 8/17(日) 9/7(日) 午前11時~各1時間程度

※参加には企画展観覧券が必要です。

ミュージアムショップやまと 限定販売

篠田正浩監督の記録映画「海と造船」DVD特別限定版 限定500本

戦艦「大和」進水記念の湯呑(レプリカ) 限定1000個

tel:0823-32-1123

たんけんミュージアムクイズ

企画展会場で実施(1階 大和ホール)

全問正解者には記念品進呈!

※参加には企画展観覧券が必要です。

- | | | | |
|----|-----------------------|------------------------------------|-----|
| Q1 | しんすいしき なに | 進水式とは何を指すのでしょうか? | こたえ |
| Q2 | せんかん やまと しんすい | 戦艦大和は、どこで進水したのでしょうか? | |
| Q3 | せんかん むさし しんすい | 戦艦武蔵は、どこで進水したのでしょうか? | |
| Q4 | せんきよしんすい せんたいしんすい なに | 船渠進水と船台進水のちがいは何でしょうか? | |
| Q5 | しんすいしき せつだん しこう なに まも | 進水式で切断された支綱は何のお守りになるといわれているのでしょうか? | |